

平成 27 年度山口県中学校柔道選手権大会審判会議資料

平成 27 年 7 月 18 日～19 日 萩ウエルネスパーク

1. 試合審判規定

- (1) 「国際柔道連盟試合審判規定 (2014・2016)」ならびに「少年大会申し合わせ事項」により行う。
- (2) 試合時間… 3 分 ゴールデンスコア (以下「GS」という) 無制限
※抑え込み時間 1 本 = 20 秒 技有 = 15 秒以上 有効 = 10 秒以上
- (3) 判定基準
 - ①団体戦の「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」とする。
1 本 (反則勝ち) > 技有 > 有効 > 僅差
※ 「僅差」とは双方の選手間に技による評価がない、又は同等の場合、「指導」差が 2 以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちにするものである。
それに満たない場合は「引き分け」とする。
代表決定戦は、個人戦同様の判定基準でおこなう。
 - ②個人戦の「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「指導 1 回」とし、優劣がない場合はゴールデンスコアにより必ず勝敗を決する。
1 本 (反則勝ち) > 技有 > 有効 > 指導 3 > 指導 2 > 指導 1

2. 試合についての申し合わせ事項および IJF ルールの特殊な例の解釈

- (1) 本大会は後襟を持つことを認める。
- (2) 本大会の代表決定戦に出場する選手は任意に選ぶことができることとする。
- (3) 代表決定戦及び個人戦において両試合者が同時に直接「反則負け」になった場合は延長戦 (GS) を行う。
- (4) 下穿きの下に着けるスパッツ等の長さは、膝よりも短いことを原則とする。(2008.2.1～)
- (5) 固め技の攻防で、どちらか一方が試合場外の床や机、椅子に触れた場合や隣接する他の試合場内に触れた場合には、「待て」を宣告する。
- (6) 選手が接触する恐れがある場合には、安全配慮を優先し、「待て」を宣告する。

3. 大会進行および確認事項

- (1) 審判員の交替
 - ①団体戦は 1 試合ごとに主審押し出しで交替することとする。
 - ②個人戦については 3 試合ごとに主審押し出しに交替することとする。
 - ③団体戦の決勝リーグ及び個人戦準決勝戦、決勝戦については別に審判割を行う。
 - ④団体戦の主審の交替は、主審を男子は 2 - 2 - 1、女子は 1 - 1 - 1 で交替しながら行うこととする。
- (2) 競技の進行
競技進行については大会要項通り行うが、競技の進行に著しく差が生じた場合は、試合場を変更することがある。その場合は放送で連絡する。
- (3) 選手の礼法
 - ①試合前後の礼法を遵守させてください。
 - ②試合終了時には、服装をきちんと正すようにご指導ください。